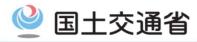
# 大野市地域公共交通利便增進実施計画(概要)



- 大野市は、人口減少や少子化、運転免許保有者の増加(高いマイカー保有率)により、公共交通の利用者数は大きく減少。 一方、これから団塊の世代が後期高齢者となり、車の運転が不安になる方や運転免許返納者の増加が予想される。
- 車社会にあって市民は、「高齢者や運転免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通の実現」を望んでいる。
- これら課題や住民ニーズを踏まえ、交通ネットワークを再編し、移動にやさしい・わかりやすい交通サービスを提供する。

## 事業の内容

## ①市営バスの再編・和泉地区とのアクセス強化

- 市営バス2路線を統合し、スクールバスも兼ねた路線を新設。統合による車両運用効率化に伴い越前大野駅-九頭竜湖駅間の運行本数が増加(往復1本/日→最大4本/日)し、越美北線のダイヤを補完
- 和泉地区内の市営バス2路線を統合しデマンド化。利用可能時間 が増加し、和泉大野線からの乗継利用で地区内のアクセス性向上

# ②循環バスの時刻表・ルート見直し、運行効率化

- 鉄道やバス(地域間幹線・市営バス)のダイヤを考慮し接続性向上、 一部ルートの見直しにより、特に通学における速達性向上
- 廃止バス路線は循環バス車両を活用し路線を新設、運行効率化

## ③乗合タクシーの利便性向上

- 会員になると自宅までの送迎が受けられる会員制を導入。歩行が しづらい高齢者等の利便性を改善。タクシー利用料金助成も新設
- ・歯科医院はじめまちなかの停留所を追加し、豊富な目的地へ改善

## ④わかりやすい交通サービス・バス情報の提供

- ・距離制運賃や複雑な割引を再編、わかりやすい運賃を確立
- バスロケーションシステムの導入など、バス情報の充実・高度化を図る

## 事業の効果

- ラストワンマイルを含む郊外と市街地の交通ネットワークが強化
- 市営バスの再編やニーズに基づく会員制の導入や停留所の追加等 により、ラストワンマイルを含む郊外から市街地への往来が便利に
- 利用者・リピーター数の増加、収支率改善
- ニーズを踏まえた利便性向上策やわかりやすさの改善により、車から 公共交通への移行や併用を促進。利用者増による収支率改善を図る

